

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-43 管渠維持管理費 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名			
					1252	ポンプ場維持管理事業		
主管課	浄化センター	関連課	下水道課					
分野名	下水道・河川							
目標 (目標値)	汚水中継ポンプ場6箇所、低地排水ポンプ場56箇所の機能維持を確保する (汚水送水能力の確保)							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	86,283千円	107,546千円	経費及び人員数は、前年度の都整-46(旧山崎分)と集約して記載	指標と評価			
	(国・県)				指標	送水1m ³ 当たりの送水コスト(円/m ³)		
	(負担金等)				評価	◎		
	(一般財源)	86,283千円	107,546千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退			
	人員配置数	1.5人	1.7人		目標値	実績値		
	人件費	13,408千円	15,169千円		20年度	9.50円/m ³	10.41円/m ³	
協働の パートナー			21年度	9.50円/m ³	8.10円/m ³			
事務事業 運営経費	総事業費	99,691千円	122,715千円	対象者1人は水洗化人口で計算 20年度:154,608人 21年度:155,752人	22年度	9.50円/m ³		
	市民1人当りの経費	564円	695円		23年度	9.50円/m ³		
	対象者1人当りの経費	640円	794円		最終年度 (年度)	9.50円/m ³		
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名							
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 各ポンプ場の老朽化対策						
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 各ポンプ場の老朽化対策として、七里ガ浜ポンプ場の改築工事を開始、また、西部ポンプ場の改築設計を実施した。						
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 改築更新まで老朽化した施設の維持に万全を期す。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 汚水中継ポンプ場の機械・電気設備の改築更新を補助事業で計画的に実施する。						
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性			評価結果	改善の必要性			
B	有	・施設機能の確保に努め、適正な維持管理を実施する。 ・集中監視方式の導入を図る。		B	有	・引き続き適正な維持管理に努める。		
課長名	浄化センター所長 原 秀広			部名・部長名	都市整備部 山内廣行			